



関連科目，教科書および補助教材

関連科目	生物
教科書	生化学 関 周司著(三共出版)
補助教材等	生化学関係一般

学習上の留意点

基礎をおろそかにせず、確実に知識を増やそう。生物化学 I の知識が基礎になります。

担当教員からのメッセージ

体の中で行われている代謝や酵素の働きについて学習します。運動せずに、センベイをかじっていると、体の中ではどのような反応が起こるのか、また、インフルエンザウイルスやヒト免疫不全ウイルス(HIV)などの免疫に関する学習も行います。

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	タンパク質と酵素 (1)	酵素の分類について理解することができる。	予習では教科書p58-63の該当箇所を読み、復習ではノートで再度専門用語などの知識を定着させること。
2	タンパク質と酵素 (2)	反応速度論について理解することができる。	
3	タンパク質と酵素 (3)	酵素阻害やアイソザイムについて理解することができる。	
4	エネルギー獲得系 (1)	エネルギー獲得系の概要について理解することができる。解糖系について理解することができる。	予習では教科書p77-90の該当箇所を読み、復習ではノートで再度専門用語などの知識を定着させること。
5	エネルギー獲得系 (2)	クエン酸回路について理解することができる。	
6	エネルギー獲得系 (3)	電子伝達系について理解することができる。	
7	エネルギー獲得系 (4)	嫌気呼吸によるエネルギー代謝について理解することができる。	
8	中 間 試 験		
9	光合成	光合成の色素および反応経路について理解することができる。	配布したプリントで再度専門用語などの知識を定着させること。
10	脂質の代謝	脂質の代謝について理解することができる。	予習教科書p22-29の該当箇所を読み、復習はノートで再度専門用語などの知識を定着させ
11	血糖の維持機構	血糖値の調節について理解することができる。	予習教科書p71-76の該当箇所を読み、復習はノートで再度専門用語などの知識を定着させ
12	生体内の情報伝達	細胞間の情報伝達様式について理解することができる。	配布したプリントで再度専門用語などの知識を定着させること。
13	生体内の生体防御 (1)	免疫系とその担当細胞について理解することができる。	予習教科書p163-169の該当箇所を読み、復習はノートで再度専門用語などの知識を定着させること。
14	生体内の生体防御 (2)	免疫グロブリンとサイトカインについて理解することができる。	
15	答案返却・解答解説 全体の学習事項のまとめ 授業改善アンケートの実施	試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。	
総 授 業 時 間 数			30 時間